

一度はあきらめた夢をふるさと大田で

大野さん夫妻



▲大野鮎美さん(プチリュクス店内にて)



平成26年11月に移住した大野鮎美さんは、長久町で「パティスリー・プチリュクス」という洋菓子店を同年12月にオープンしました。

熊本県出身で専門学校で製菓を学んだ鮎美さんは、いつか自分のお店を持ちたいと思いつきながら、働いていました。

結婚や出産を経て夢を諦めていましたが、夫の僚太さんから、「自分のお店をやってみたら？」と提案があり、鮎美さんは夢の実現に向かって動き始めます。

僚太さんが大田市出身ということもあり、縁があつて長久町に店舗兼住宅を建て、営業を開始。店頭にはたくさん種類のケーキやクッキーなどが並びます(写真左)。

大野さんは市の『定住奨励事業』(下段参照)と『新築住宅の課税免除制度』(次頁上段参照)を利用。

「設備代に費用がかかるので、定住奨励事業は助かりました。また新築住宅の課税免除もうれしい制度です」と言います。

パティスリー プチリュクス

長久町長久イ264-2
☎0854-82-1212
営業時間：10：00～19：00
定休日：不定休
※定休日はフェイスブックに掲載しています。



Facebookページ

プチリュクス 検索

「何度も来店してもらえようなお店を目指して、気軽に食べられる大きさと価格にしました。いろいろな種類を用意していつ来ても楽しめるお店を目指しています」と鮎美さんはお店のこだわりを語ります。

鮎美さんの夢はまだはじまったばかり。今後の活躍に期待しています。

定住奨励事業

UIターンで大田市に定住されるかたの住宅取得や賃貸費用の一部を助成し、移住・定住を応援します。

《お問い合わせ先》
市役所 地域振興課 定住推進室
☎ 0854-83-8029
FAX 0854-82-5885

区分	基本金額	加算額	助成額の上限
新築・中古住宅の取得による場合	①新築費用もしくは中古住宅購入費用(土地代除く)の10%と20万円を比較して低い額	③18歳以下の子供1人につき2万5千円(2人分まで：上限5万円)	上限30万円 (基本額と加算額の合計額) ①+③+④
賃貸住宅への入居による場合	②家賃の3カ月分と10万円を比較して低い額	④世帯主が45歳未満の世帯1世帯につき新築・中古住宅の取得による場合は5万円、賃貸住宅への入居による場合は家賃の1カ月分と3万円を比較して低い額。	上限18万円 (基本額と加算額の合計額) ②+③+④

※助成には別途要件がありますので詳細はお問い合わせください。
※事業の内容に変更がある場合があります。

新築住宅の課税免除制度

地方税法による新築住宅の固定資産税軽減措置に併せて、市独自の課税免除の上乗せを行い、住宅需要を喚起し、定住促進と地域活性化を図ることを目的に新築住宅の課税免除を行います。

〈対象住宅〉

- 1、地方税法の「新築住宅に対する固定資産税の減額」の対象要件に該当すること
- 2、本社または営業所等を市内に有する法人及び市内に住所を有する個人事業主が施工した住宅

※課税免除には申請手続きが必要となります。また申請には上記の他、別途要件がありますので詳細は市役所税務課資産税係までお問い合わせください。

〈助成内容〉

住宅の居住部分のうち120㎡分にかかる固定資産税を新築後の3年度分全て減額する制度です。

国の法律で定められた制度

新築住宅の固定資産税が3年間又は5年間又は7年間減額
(居住部分のうち120㎡分の固定資産税が1/2になる)

市独自の制度

国の制度で減額されなかった残り1/2を市で独自に免除

【期間は3年間】

〈お問い合わせ先〉

市役所 税務課 資産税係

☎ 0854-83-8025 FAX 0854-82-8944

さんのお跡地にスーパーマーケットがオープン

大田町橋南地域の活性化へ弾み



▲グッディー大田店

地域の産品を豊富に取り揃えています。他にも輸入菓子の様な高級感ある商品も数多く、幅広い品揃えが人気を呼んでいます。

また、食料品や日用品の販売のほかに、クリーニング店がテナントとして入居しており、利便性の高さも魅力のひとつです。

平成23年に閉店した大田町の「さんのおデパート」跡地に、昨年12月11日スーパーマーケット「グッディー大田店(株式会社ウシオ)」がオープンしました。

4年ぶりとなる橋南地域での新しいスーパーに、オープン初日から大勢の買い物客で賑わいました。

新しい店舗は平屋建てで、店内の通路が広めにとつてあるため、買い物しやすいつくりとなっています。

また、地元の魚や野菜をはじめ、お酒に加工食品といった

この新店舗の建設にあたっては、地元の商店会の有志9人が立ち上がり、大田町本通商店会協同組合を設立。国や市の補助金を活用して「さんのお」の店舗と立体駐車場を解体しました。

この土地に、(株)ウシオが新店舗を建設して、開店の運びとなりました。大田町本通商店会協同組合の齊藤寛理事長は、「商店街の活性化を目的に、お客様を呼び込む核となる店舗としてグッディーを誘致しました。オープン以降、人の流れは間

違わなく変わっています。この流れを商店街の各店舗へ広げていきたいと考えています。例えば、お店の人が講師となって専門店ならではの専門知識や情報を教える講座『まちゼミ』のような活動を実施するなど、商店街の賑わいに繋がる取り組みを実施していきます」と話されました。

商店街に明るい兆しが見える中、グッディー大田店近くの空き店舗では、新たにカフェがオープンすることとなり、改装工事が進められています。橋南地域の商店街から、賑やかなまちづくりに向けた植音が響いています。



▲解体前の旧さんのおデパート